

2007年3月29日

韓国戸建注文住宅事業 ソウル市近郊に第1号モデルハウスオープン

住友林業株式会社（社長：矢野龍 本社：東京都千代田区丸の内1丁目8番1号）は、韓国の大手建材メーカーである東和ホールディングス（Dongwha Holdingsソウル市）と折半出資で東和SFCハウジング株式会社（Dongwha SFC Housing）を2006年5月に設立し、韓国での新築戸建住宅事業に進出いたしました。このたび第1号となるモデルハウスが完成し、3月6日オープンいたしましたのでお知らせいたします。

■売却型モデルハウス

所在地：ドンベック ニュータウン

（Dongbaek New Town／キョンギドゥ ヨンイン市）

＊ソウル中心地から南に4.5Km。車で約50分

敷地面積：200.2 平方メートル（約64坪）

積

延床面積：257.29平方メートル（約78坪 地下、ガレージ含む）

積 1階113.10平方メートル

2階100.26平方メートル

地下43.93平方メートル

工法：2×4工法

特徴：住友林業の住宅商品「MyForest」のデザインをベースに、韓国の生活スタイルに合わせて設計提案。

■ニュータウン概要

所在地：ドンベック ニュータウン

（Dongbaek New Town／キョンギドゥ ヨンイン市）

総面積：330万平方メートル（1,001,000py(ピョン)）

区画規模：戸建用地 1,069区画、集合住宅16,754戸

模

東和SFCハウジング(株)を設立後、2006年8月ソウル市内にショールームを開設、同10月当モデルハウスの着工を開始し、2007年3月オープンに至りました。当社主要商品である「MyForest(マイフォレスト)」のデザインをベースに、木質感あふれる内装・外装を提案します。韓国の生活様式にあわせ、床暖房（オンドル）も提案しています。展示場として使用後売却を予定しており、2棟目の展示場は年内オープンを予定しています。

韓国の年間住宅着工は50万戸から60万戸で推移しており、このうち高層のマンションが約8割、低層の集合住宅が約1割、残り1割が一戸建て住宅となっております。一戸建ては年間5万戸程度で推移しています。現在、韓国政府は住宅政策について「量的拡大」と「質の向上」の両軸で展開しており、さまざまな住宅供給開発を打ち出しています。

政府の試算によると年間6万戸の住宅が不足している状況にあり、首都圏では2005年から2010年にかけて6箇所に合計30万戸の大規模な新都市開発を計画・準備中で、すでに公的な団地開発が行われています。戸建住宅用地の開発も拡大傾向にあり、一戸建て用地供給は拡大することが予想されます。当社は、今後の成長が見込まれる韓国の戸建住宅市場に進出し、「住友林業の家」で培ってきた住宅事業のノウハウ、技術力、アフターサービスなどお客様最優先主義を導入し、独自のビジネスモデルを構築することで、木造住宅メーカーとしていち早くパイオニア的地位の確立をめざします。



<韓国モデルハウスオープン>

以上

<本件に関するお問い合わせは、下記までお願い致します。>

住友林業株式会社
コーポレート・コミュニケーション室
TEL：03-3214-2270